

断面

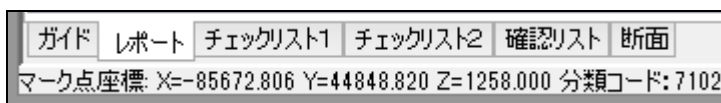
目次

1. 機能	1
2. 「断面」パネルでの設定.....	2
3. 「断面」パネルの表示操作.....	3
4. 「断面」パネルでの保存.....	4
5. 更新記録.....	4
6. 索引	4

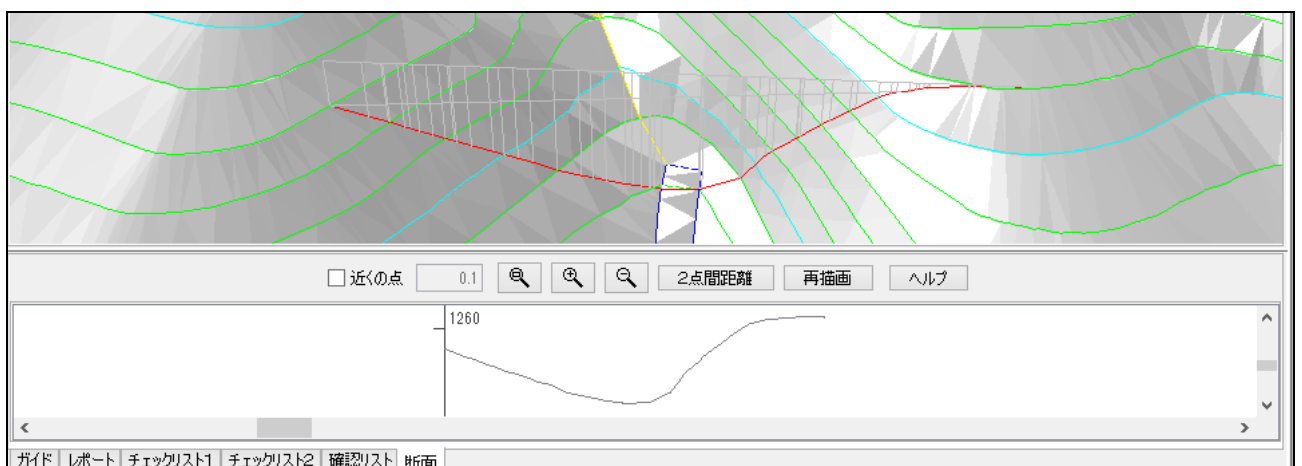
1. 機能

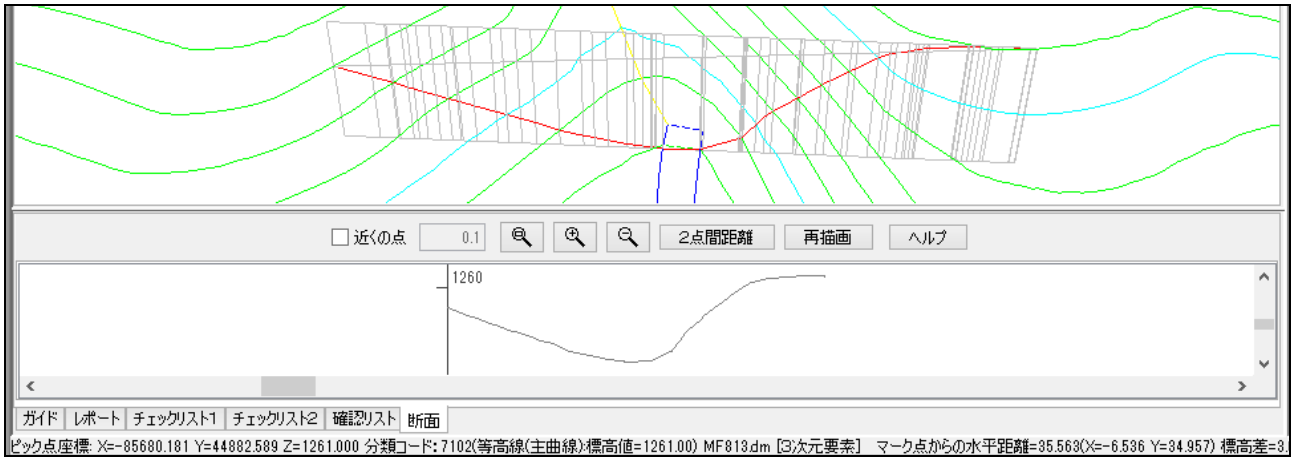
線分を指定し、表示している TIN から凹凸形状を取得・表示します。

[3D 表示]パネルでコントロールキーを押しながら、左マウスボタンをクリックすることで、「マーク点」が設定できます。ウィンドウ下のステータスバーに「マーク点」の座標を表します。

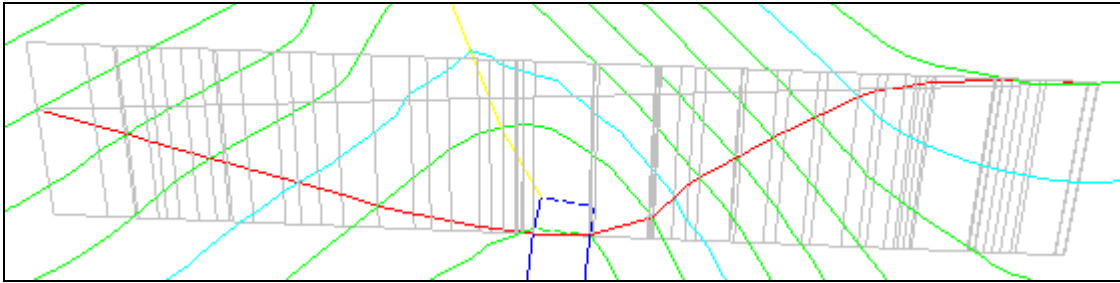


「マーク点」が設定された状態で、右マウスボタンをクリックすることで、表示している TIN から断面を取得し「断面」パネルに表示します。

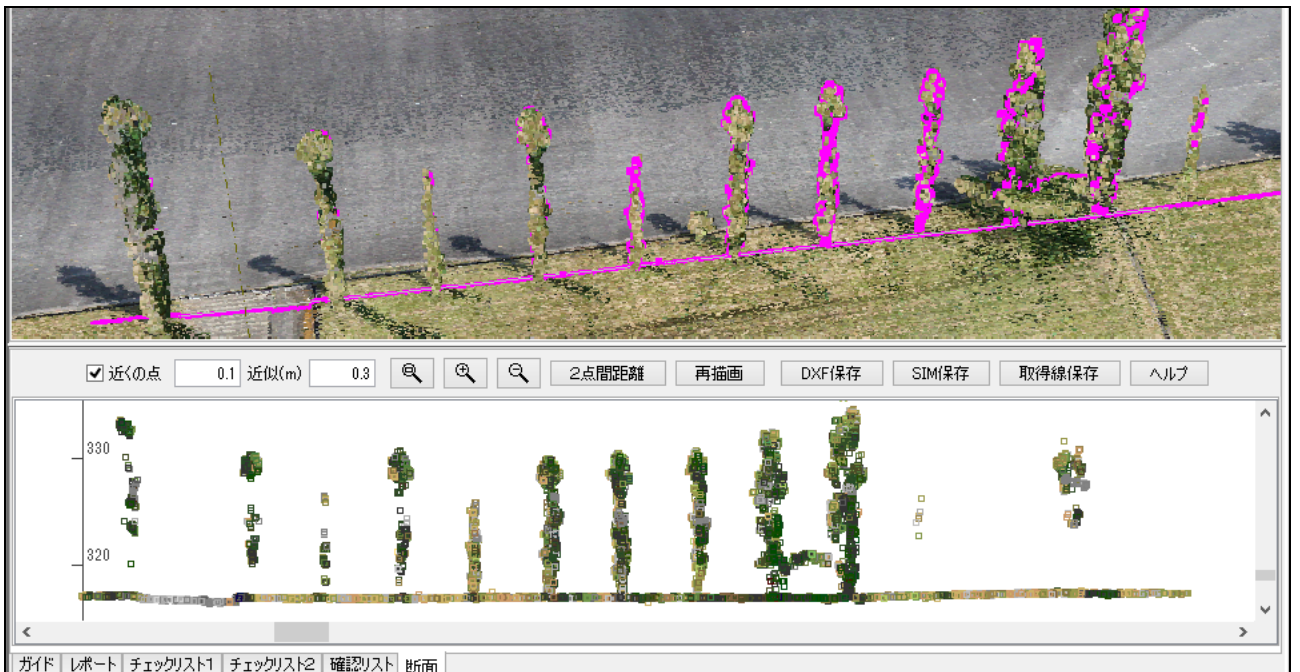




上図の上側は TIN を表示、下側は TIN の表示を OFF にしています。



「マーク点」から右マウスボタンでのクリック点までを「断面取得線」とします。



LAS (LASer File Format) などポイントについて、断面取得線の近くのポイントも表示します。

2. 「断面」パネルでの設定

「3D表示」パネルで断面を取得する前の設定です。

<input type="checkbox"/> 近くの点	0.1	近似(m)	0.3
-------------------------------	-----	-------	-----

近くの点

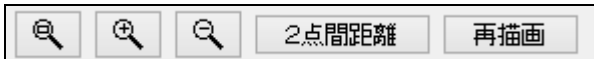
LASなどのポイントについて、断面取得線の近くのポイントを参照する場合にONにします。デフォルトはOFFです。隣の値は断面取得線からポイントまでの最大距離をメートルでしています。

近似

TIN から取得した縦断のポリラインを近似します。縦断面での近似で、元のポリラインとのずれが指定した値より大きくならないように点数を減らします。

標高値が最も高い点と低い点は残すように近似します

3. 「断面」パネルの表示操作



上の3個のボタンはそれぞれ、矩形範囲拡大、2倍拡大、2分の1縮小です。

インターフェース	処理内容
ボタン[矩形範囲拡大]	断面表示パネルのマウスドラッグで矩形を指定し、その範囲を拡大します
ボタン[2倍拡大]	断面表示パネルの中央を基準に表示を2倍に拡大します
ボタン[2分の1縮小]	断面表示パネルの中央を基準に表示を2分の1に縮小します
マウス左ボタンのダブルクリック	クリックされた位置を断面表示パネルの中央にスクロールします
マウス右ボタンのドラッグ	断面表示パネルの表示をスクロールします
マウス中ボタン(ホイールボタン)を押して上下にドラッグ	断面表示パネルの中央を基準に表示を拡大縮小します。 上側：縮小 下側：拡大
ボタン[2点間距離]	<p>ボタンを押した後、マウス左ボタンでドラッグしてください。</p> <p>2点間の距離、水平距離、垂直距離と角度をステータスバーに表示します。</p>

ボタン[再描画]

断面表示を再描画して、2点間距離の黄色い線を消します。

4. 「断面」パネルでの保存

オプションライセンスが設定されていると、保存ボタン等が追加表示されます。

DXF保存

SIM保存

取得線保存

DXF 保存

「断面」パネルに表示している断面のポリラインなどを DXF ファイルに保存します。

距離を X、標高値を Y として保存します。

ポリラインのレイヤは「1」です。

また、LAS などからのポイントからのポイントエンティティも保存します。レイヤは「POINT」です。

SIM 保存

SIMA 共通フォーマットファイルの縦断成果(H00, H01, H99)を保存します。

「路線番号」と「路線名称」は 1 から番号です。

「点名称」と「杭頭高」は空白です。「測点種別」は「2」をセットします。

取得線保存

「3D 表示」パネルに引いた線（断面を取得する位置を指定した線）を DXF ファイルに保存します。

保存するエンティティはポリラインで、TIN から取得した Z 値をセットします。

レイヤは「0」です。

5. 更新記録

2017/04/05

✓ダイアログに「ヘルプ」ボタンを追加、この説明を表示

2017/04/08

✓LAS のポイントなど、断面取得線の近くにあるポイントの表示を追加

2017/07/14

✓LAS のポイントの表示で、LAS の色が表示されないことがある問題を修正しました

6. 索引

LAS (LASer File Format) , 2

マーク点, 1

断面取得線, 2

